

グローバル・ロボティクス株式ファンド

(1年決算型)/(年2回決算型)/

(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)

2024年10-12月の運用状況と
今後の見通し

優秀ファンド賞

「1年決算型」「年2回決算型」
投資信託 テクノロジー関連外国株式部門

「グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」は、2025年1月20日に決算を行ない、当期の分配金について、下記の通りとしましたことをご報告いたします。

本レポートでは、2024年10-12月の運用状況と今後の見通しについて、当ファンドの投資顧問会社であるラザード・アセット・マネジメント・エルエルシー(ラザード社)のコメントをもとにご紹介いたします。

<「1年決算型」基準価額の推移>

(2015年8月31日(設定日)～2025年1月20日)



<2025年1月20日決算日時点の各ファンドの分配実績と基準価額>

	年2回決算型	為替ヘッジあり・年2回決算型
当期の分配金	1,000円	0円
設定来の分配金合計	15,050円	9,800円
基準価額(税引前分配金控除後)	10,905円	10,216円

(1年決算型)および(為替ヘッジあり・1年決算型)は毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日)が決算日となります。

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。

※世界株式: MSCIワールド指数(税引後配当込み、米ドルベース)を日興アセットマネジメントが円換算。なお、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の値に当日の為替を適用して算出。上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない

場合もあります。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

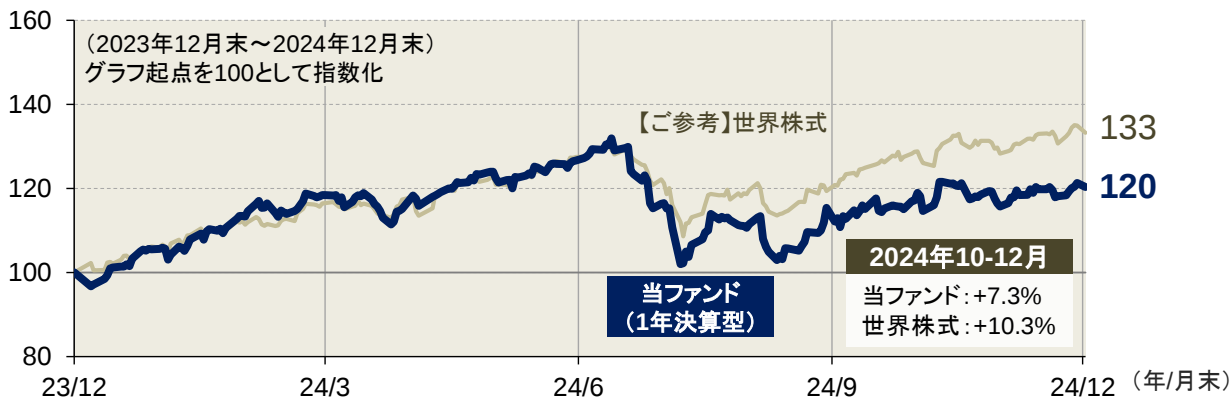
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの振り返り①:2024年10-12月の運用状況

「トランプ2.0」への期待や、円安・ドル高がパフォーマンスを下支え

- 2024年10-12月の世界株式は、中東情勢の緊迫化や米金利の上昇などが重石となったものの、11月の米大統領選で圧勝したトランプ氏の政策への期待の高まりなどを受け上昇しました。
- 当ファンドについては、2024年上半期のパフォーマンスをけん引した生成AI(人工知能)関連銘柄が、7-9月期の調整後に方向感を欠く動きとなる場面もあったものの、トランプ新政権の政策はロボティクス関連銘柄への追い風になるとの見方もあるなか、日米金利差拡大による円安・米ドル高の大幅な進行を受け、その後は底堅く推移しました。

【1年間の基準価額推移】



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※世界株式: MSCIワールド指数(税引後配当込み、米ドルベース)を日興アセットマネジメントが円換算。なお、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の値に当日の為替を適用して算出。上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

【1年間の主な出来事】

2024年1-3月

- ・米欧の**早期利下げ期待が後退**
- ・生成AI関連の**大手ハイテク企業の好決算**
- ・日本で**約17年ぶりの利上げ**

2024年4-6月

- ・一進一退の展開が続く**米利下げ観測**
- ・欧州の政治リスク懸念
- ・米半導体大手の**好調な決算や業績見通し**
- ・中東情勢の緊迫化

2024年7-9月

- ・米景気後退懸念
- ・米国の**対中半導体規制強化懸念と大手ハイテク企業の業績期待後退**
- ・**日銀追加利上げ決定**

2024年10-12月

- ・米大統領選で**共和党トランプ氏が勝利**
- ・米利下げペース鈍化との見方が広がる
- ・米・独の主要株価指数が**史上最高値を更新**

【ご参考】世界株式と当ファンドの主要関連セクターの四半期騰落率(円換算ベース)

2024年1-3月		2024年4-6月		2024年7-9月		2024年10-12月	
コミュニケーション・サービス	21%	情報技術	19%	資本財・サービス	-1%	一般消費財・サービス	20%
情報技術	20%	コミュニケーション・サービス	16%	一般消費財・サービス	-4%	コミュニケーション・サービス	19%
資本財・サービス	17%	世界株式	9%	世界株式	-5%	情報技術	17%
世界株式	16%	ヘルスケア	7%	ヘルスケア	-6%	世界株式	10%
ヘルスケア	15%	一般消費財・サービス	5%	コミュニケーション・サービス	-10%	資本財・サービス	5%
一般消費財・サービス	14%	資本財・サービス	4%	情報技術	-10%	ヘルスケア	-2%

※世界株式: MSCIワールド指数(税引後配当込み、米ドルベース)、および同指数の業種別指数(税引後配当込み、米ドルベース)を日興アセットマネジメントが円換算。なお、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の値に当日の為替を適用して算出。上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※上記は指数の騰落率であり、当ファンドの組入銘柄の騰落率ではありません。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

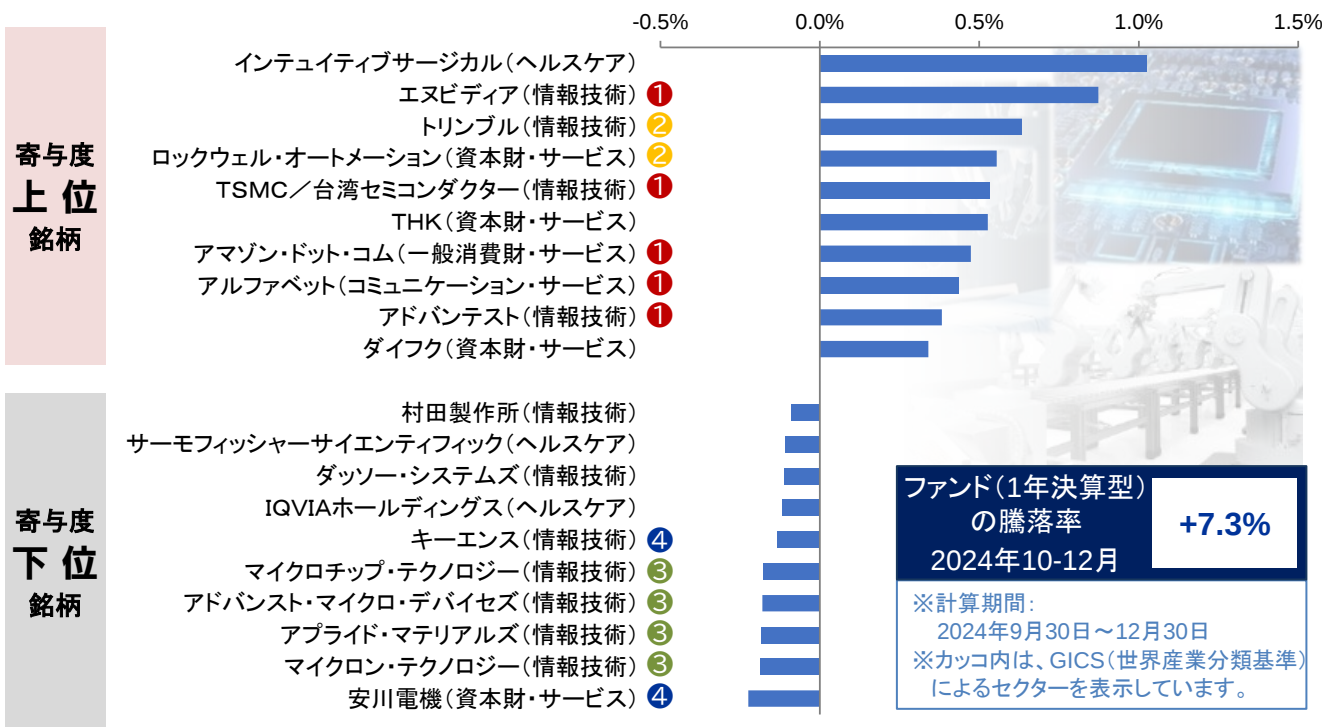
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの振り返り②：銘柄別寄与度分析より

生成AIや、リショアリング関連銘柄を中心にプラスとなった24年10-12月

- 2024年10-12月の当ファンド(1年決算型)の騰落率は、+7.3%となりました。
- 銘柄別寄与度では、7月以降調整が続いていた生成AI関連の中で、堅調な業績見通しから反発した銘柄や、トランプ氏の米大統領就任によって米国での製造業の国内回帰(リショアリング)がますます進むとの期待から、それに関連する銘柄などがプラスに寄与しました。

銘柄別パフォーマンス寄与度(2024年10-12月)



※写真はすべてイメージです。

From LAZARD ～ラザード・コメント～

2024年10-12月の世界の株式市場では、米利下げの継続や、トランプ米新政権への期待などから米国株式が堅調となり、パフォーマンスをけん引しました。

当ファンドにおいては、出遅れていた生成AI関連銘柄の中でも、足元の業績が好調となった銘柄(①)や、米国でのリショアリングによって業績拡大が期待された銘柄(②)がプラスに貢献したものの、半導体市場が調整するなか、今後の業績見通しの不透明さが懸念された銘柄(③)や、製造業の回復遅れに関連した銘柄(④)などの株価調整が、足を引っ張りました。

なお、トランプ新政権の方針を受けて進むリショアリングの動きは、米国における製造業の自動化を一層推し進めていくとみており、それを可能にする技術や製品を有する企業は今後も大きな恩恵を受けると考えています。

●寄与度は、上記期間中の基準価額の変動において、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したものです。また、実際の基準価額の騰落に対する寄与度を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。●各銘柄の日次の保有比率および株価を基に為替変動などを考慮して計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコスト(売買手数料や信託報酬など)などは考慮されていません。なお、当ファンドにおける各銘柄の保有期間は異なります。●上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものではありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ラザード社による今後の見通し

「トランプ2.0」への期待が高まるも、世界経済の不透明感が残る

トランプ新政権の掲げる政策において、減税継続や規制緩和は明るい材料として期待される一方、不法移民の送還や関税政策はインフレを再燃させるリスクもあるとラザード社は考えています。また、中東などの地政学リスクに加えて、フランスやドイツのような欧州大国の政治情勢が不安定化していることも、世界経済の不透明感を高めています。

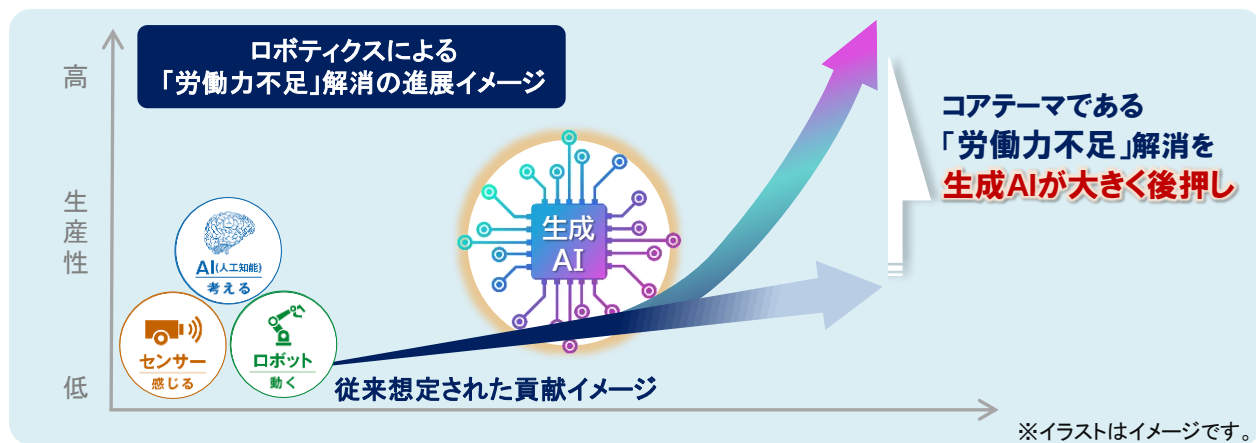
なお、米国の景気先行きについては、引き続きソフトランディングをメインシナリオと考えていますが、25年の利下げ回数に対する足元のコンセンサスは1～2回と、高い金利水準が想定よりも長期間続く可能性があり、企業業績に与える影響については注視しています。

生成AIの活用の拡がりが見えてくるなか、電力設備関連への恩恵や、製造業への再注目などに期待

米国を中心に株式相場が上昇基調にある一方、世界経済への不透明感が高まっているというアンバランスななかでは、より確かで、より見通しが明るい分野への投資を行なう重要性がこれまで以上に高まっていると考えています。

このような中、より明らかになってきているのは生成AI活用の裾野の拡大です。足元では、ユーザーから詳細な指示を受けなくても、AIが目的に応じて自律的に仕事を進める技術である「AIエージェント(代理人)」を介して生成AIが簡単に利用できるようになりつつあります。また、これまでPCやソフトウェアなどの情報空間内にとどまっていた活用が、今後は生産や作業の現場にまで拡がり、人手不足など現在の社会課題が解決されていく見通しです。その活用に向けたデータセンター建設の加速や、それを取り巻く電力設備関連(資本財)などの周辺セクターに引き続き注目しているほか、近い将来、生成AIを搭載するための自動化機器やロボットの製造が進むなかでは、製造業が再注目されると考えています。(※生成AIに関しては次頁もご参照ください。)

当ファンドが設定来掲げる「先進国を中心とした生産年齢人口の減少や、技術進化による自動化コストの低下と自動化領域の拡大」というメガトレンドは、加速こそすれ、衰えることはない」とみています。そのため、足元における株価変動を投資のチャンスと捉え、バリュエーションを重視した運用を継続する方針です。



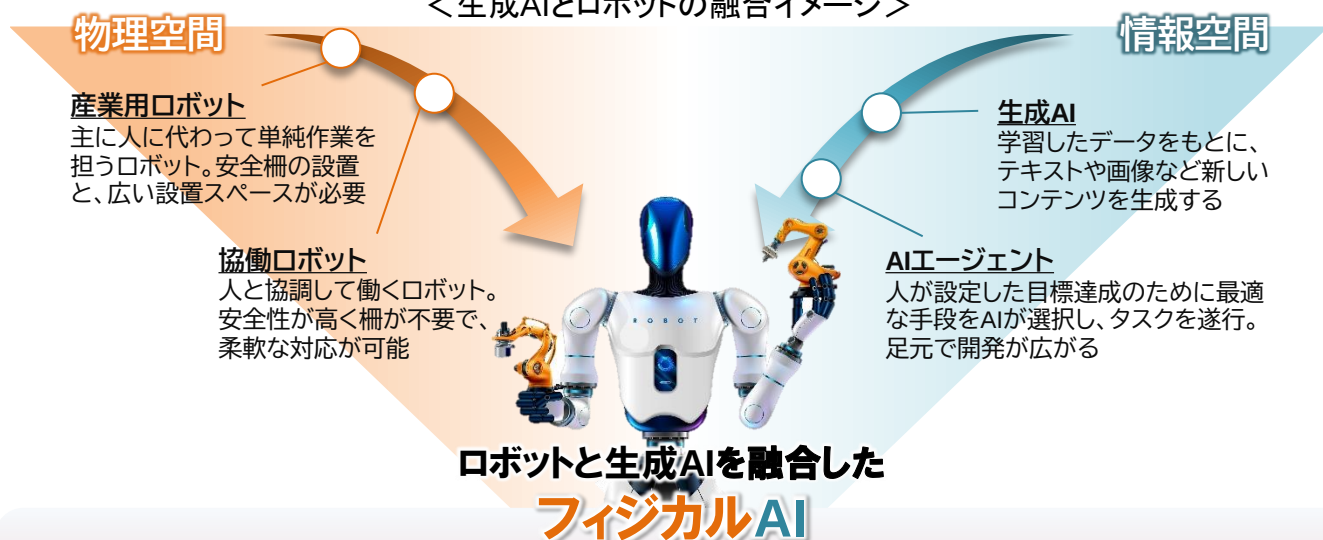
※本資料は、ラザード社からのコメントなどをもとに日興アセットマネジメントが作成したものです。コメントは、資料作成時点における市場環境ならびに今後の運用方針等について、運用担当者の見解などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

Pick Up: 生成AIの進化と活用場面の拡大

- 生成AIは熾烈な開発競争に後押しされながら急速な進化と普及をみせており、他のテクノロジーにも影響を及ぼしながら活用の裾野を拡げています。足元では、「AIエージェント」の登場によって利便性が向上し、生成AIの利用が拡大するとみられています。
- さらにこの先、自動化機器やロボットと生成AIの融合(=「フィジカルAI」)によって、ロボット自身の視覚・聴覚などの情報をもとにAIが周囲の環境を理解・学習・判断し、自ら動けるようになることで、これまで自動化が難しかった分野でも活用が進み、さらなる労働力不足の解消などにつながると期待されています。

フィジカルAI～ロボットとAIの融合によって、自らの判断で動けるように～

<生成AIとロボットの融合イメージ>

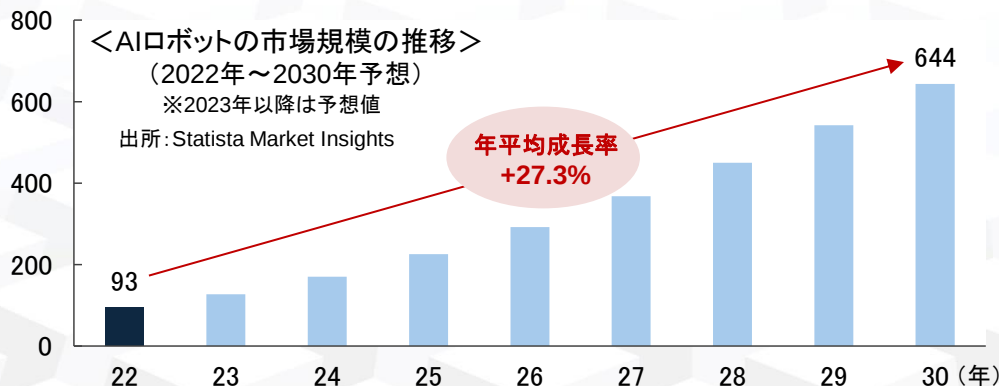


ロボットと生成AIの融合によって、労働力不足の解消加速が期待される

※写真はイメージです。

AIロボット市場は、今後大きな成長が予想されている

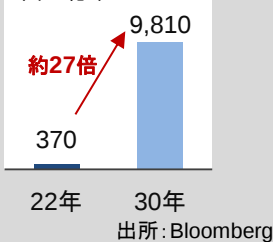
(億米ドル)



※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

<生成AIの市場規模> (2022年、2030年予想)

単位: 億米ドル



**生成AI市場は
大幅な成長を見込む**

<ご参考> 長期的な資産形成を目指す“積立投資”のススメ

- 投資信託への投資手法には、ひと時に全額を投資する手法（一括投資）のほかに、投資時期を分けて（時間分散）、定時定額で投資する手法（積立投資）があります。
- 毎月一定金額で購入を行なう「積立投資」では、基準価額が低い局面ではより多くの口数を購入し、基準価額が高い局面ではより少ない口数を購入することになるため、購入価額が平準化されます。基準価額が上下に振れながらも最終的に上昇した場合、時間分散による投資効果が期待できるとされています。

【当ファンド(1年決算型)に積立投資*した場合のシミュレーション】

(2015年8月末～2024年12月末) * 毎月、最終営業日に購入(直近月は除く)



【ご参考: 当ファンド(1年決算型)の基準価額の推移】

(2015年8月末(設定日)～2024年12月末)



- ※ 上記グラフ・データは過去のものおよびシミュレーションであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。なお、手数料や税金などの費用は考慮していません。
- ※ 上記は、当ファンド(1年決算型)に対して、各月末に積立投資を続けた場合の時価評価の推移を示したシミュレーションであり、積立投資が必ず利益があがることを保証するものではありません。
- ※ 世界株式: MSCIワールド指数(税引後配当込み、米ドルベース)を日興アセットマネジメントが円換算。なお、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の値に当日の為替を適用して算出。上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

主な受賞歴のご紹介

「グローバル・ロボティクス株式ファンド」シリーズは、パフォーマンスについて、評価機関より以下のような評価を頂いています。



モーニングスター・アワード
“Fund of the Year 2019”

優秀ファンド賞

＜対象ファンド＞

「1年決算型」

＜部門名＞

国際株式型(グローバル) 部門



「R&Iファンド大賞2024」
(投資信託部門)

優秀ファンド賞

＜対象ファンド＞

「1年決算型」「年2回決算型」

＜部門名＞

投資信託 テクノロジー関連外国株式部門

【Morningstar Award “Fund of the Year 2019”に関する留意事項】

Morningstar Award “Fund of the Year 2019”は国内追加型株式投資信託を選考対象として、モーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)独自の定量分析、定性分析に基づき、2019年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が判断したものです。国際株式型(グローバル) 部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド546本の中から選考されました。

当賞は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※ モーニングスター株式会社は2023年3月30日付で、SBIグローバルアセットマネジメント株式会社に社名を変更いたしました。現在、投資情報サービスおよび投信評価事業は同社の子会社であるウエルスアドバイザー株式会社で行っております。

【R&Iファンド大賞について】

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

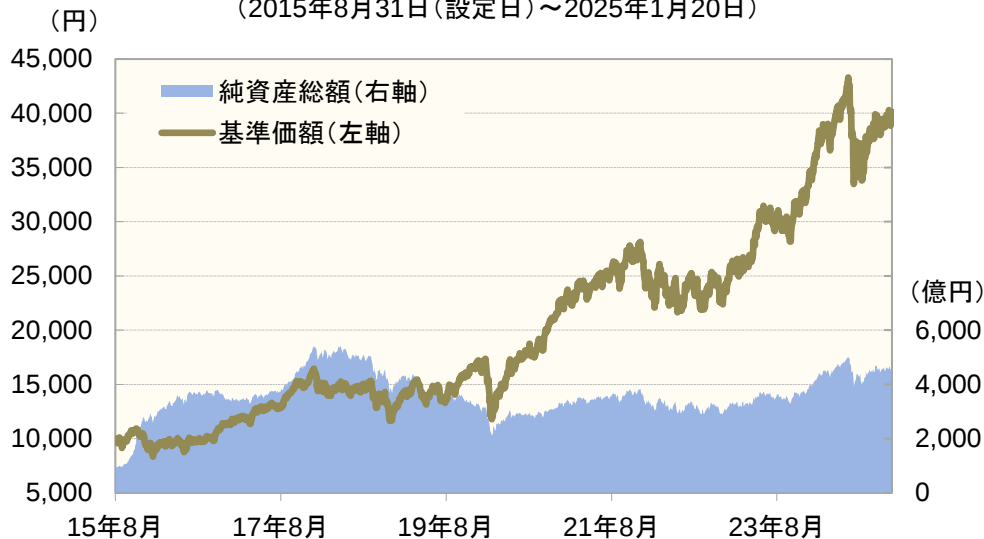
当賞は、過去3年間を選考期間とし、シャープレシオによるランキングに基づき、最大ドローダウンを加味したうえで選考しています。評価基準日は2024年3月31日です。



基準価額と純資産総額の推移①

1年決算型

(2015年8月31日(設定日)～2025年1月20日)



<分配金実績(過去5年)>

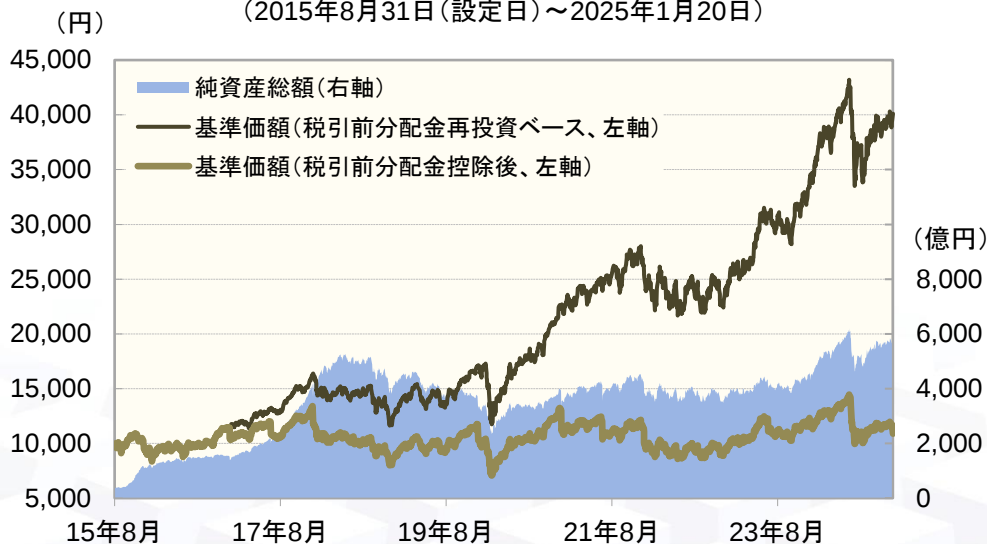
2020年7月	0円
2021年7月	0円
2022年7月	0円
2023年7月	0円
2024年7月	0円
設定来合計	0円

<基準価額>
40,140円<純資産総額>
4,663億円

(2025年1月20日現在)

年2回決算型

(2015年8月31日(設定日)～2025年1月20日)



<分配金実績(過去5年)>

2021年	1月	2,000円	7月	1,500円
2022年	1月	950円	7月	0円
2023年	1月	0円	7月	1,000円
2024年	1月	1,000円	7月	1,500円
2025年	1月	1,000円		
設定来合計		15,050円		

<基準価額>
(税引前分配金再投資ベース)
40,099円(税引前分配金控除後)
10,905円<純資産総額>
5,349億円

(2025年1月20日現在)

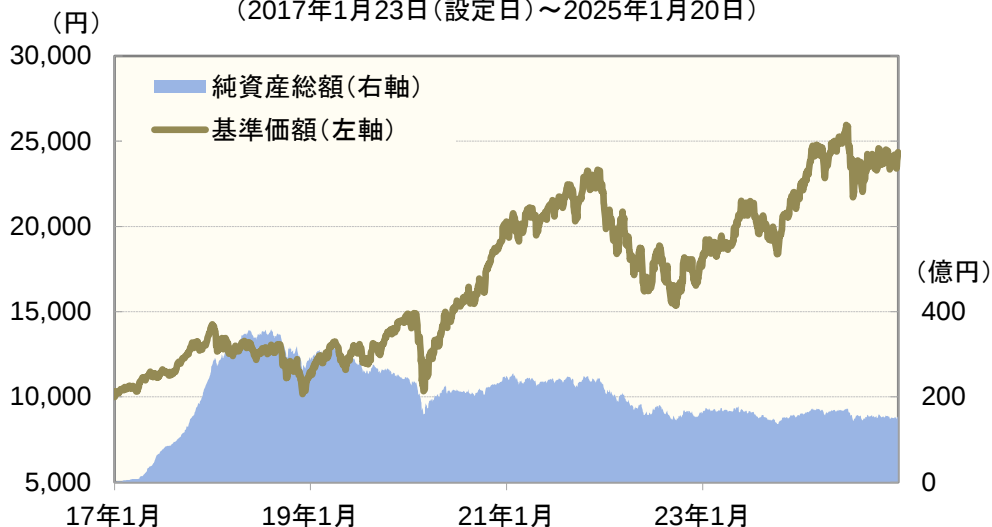
※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移②

為替ヘッジあり・1年決算型

(2017年1月23日(設定日)～2025年1月20日)



<分配金実績(過去5年)>

2020年7月	0円
2021年7月	0円
2022年7月	0円
2023年7月	0円
2024年7月	0円
設定来合計	0円

<基準価額>
24,359円<純資産総額>
154億円

(2025年1月20日現在)

為替ヘッジあり・年2回決算型

(2017年1月23日(設定日)～2025年1月20日)



<分配金実績(過去5年)>

2021年	1月	2,000円	7月	1,500円
2022年	1月	400円	7月	0円
2023年	1月	0円	7月	0円
2024年	1月	350円	7月	1,000円
2025年	1月	0円		
設定来合計		9,800円		

<基準価額>
(税引前分配金再投資ベース)
24,405円(税引前分配金控除後)
10,216円<純資産総額>
127億円

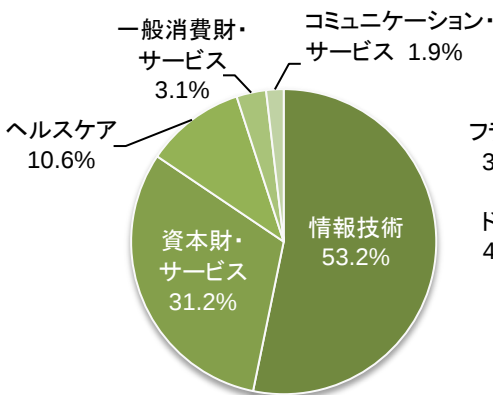
(2025年1月20日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

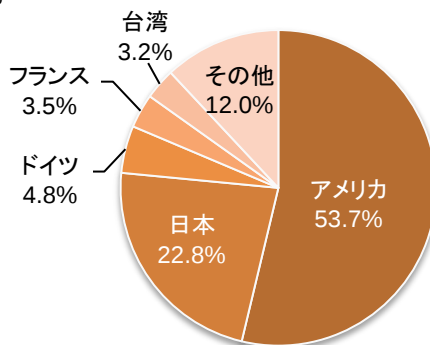
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ポートフォリオの概要(2024年12月末現在)

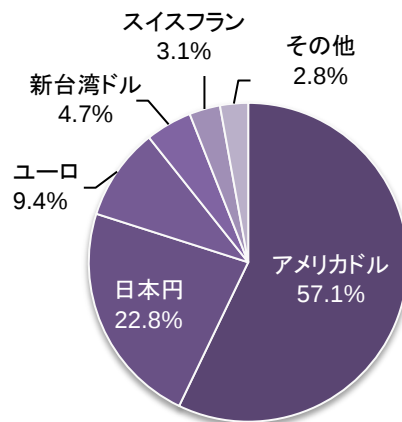
業種別比率



国別比率



通貨別比率



組入上位10銘柄(組入銘柄数:58銘柄)

	銘 柄	国 名	業 種	比率
1	INTUITIVE SURGICAL INC インテューイティブ・サージカル	アメリカ	ヘルスケア	5.2%
2	NVIDIA CORP エヌビディア	アメリカ	情報技術	4.0%
3	SIEMENS AG-REG シーメンス	ドイツ	資本財・サービス	3.3%
4	ROCKWELL AUTOMATION INC ロックウェル・オートメーション	アメリカ	資本財・サービス	3.3%
5	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC 台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング・カンパニー	台湾	情報技術	3.2%
6	ABB LTD-REG ABB	スイス	資本財・サービス	3.1%
7	TRIMBLE INC トリンブル	アメリカ	情報技術	2.8%
8	日立製作所	日本	資本財・サービス	2.7%
9	MICROSOFT CORP マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.6%
10	EATON CORP PLC イートン	アイルランド	資本財・サービス	2.5%

※上記の各数値はグローバル・ロボティクス株式マザーファンドの状況で、組入株式時価総額比です。

各比率は四捨五入しており合計が100%とならない場合があります。

※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの特色

1. 世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。
2. 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。
3. お客様の運用ニーズに応じて、決算頻度や為替ヘッジの有無が異なる4ファンドからお選びいただけます。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)／(為替ヘッジあり・1年決算型)／(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	＜1年決算型＞／＜年2回決算型＞ 無期限(2015年8月31日設定) ＜為替ヘッジあり・1年決算型＞／＜為替ヘッジあり・年2回決算型＞ 無期限(2017年1月23日設定)
決算日	＜1年決算型＞／＜為替ヘッジあり・1年決算型＞ 毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日) ＜年2回決算型＞／＜為替ヘッジあり・年2回決算型＞ 毎年1月20日、7月20日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日または ニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.85%(税抜3.5%)以内 ※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。		
換金手数料	ありません。	信託財産留保額	ありません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.936%(税抜1.76%)
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用、運用において利用する指数の標準使用料などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ヘッジ あり・ 1 年 決 算 型	為 替 ヘッジ あり・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
						日本証券 協会	日本 協会	日本 協会	一般社団法人 金融 取引 業協会	一般社団法人 金融 取引 業協会
○	○			アイオー信用金庫	登録金融機関					
○	○			アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者					○
○				株式会社あいち銀行	登録金融機関	○				
	○			株式会社青森みちのく銀行	登録金融機関	○				
○	○	○	○	あかつき証券株式会社	金融商品取引業者		○	○	○	
○				株式会社秋田銀行	登録金融機関	○				
	○			朝日信用金庫	登録金融機関	○				
○	○			足利小山信用金庫	登録金融機関					
○	○			株式会社足利銀行	登録金融機関	○			○	
○				足立成和信用金庫	登録金融機関					
○				尼崎信用金庫	登録金融機関	○				
○	○	○	○	株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	○				
	○			株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	○			○	
	○			池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	○				
○				今村証券株式会社	金融商品取引業者	○	○			
	○			株式会社伊予銀行	登録金融機関	○			○	
○	○			岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○	
○				株式会社岩手銀行	登録金融機関	○				
○	○	○	○	auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○	
○	○	○	○	SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○	○
○	○	○	○	株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	○			○	○
○	○	○	○	株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	○			○	
	○			遠州信用金庫	登録金融機関					
	○			株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	○			○	
	○			大垣西濃信用金庫	登録金融機関					
	○			大川信用金庫	登録金融機関					
	○			OKB証券株式会社	金融商品取引業者	○				
○				大阪シティ信用金庫	登録金融機関	○				
	○			大阪信用金庫	登録金融機関					
○				大田原信用金庫	登録金融機関					
○				大牟田柳川信用金庫	登録金融機関					
○				岡崎信用金庫	登録金融機関	○				
○	○			岡三証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○	○
○	○	○	○	岡地証券株式会社	金融商品取引業者	○	○			
○	○	○	○	おかやま信用金庫	登録金融機関	○				
○				おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	○				
○				株式会社沖縄銀行	登録金融機関	○				
○				株式会社香川銀行	登録金融機関	○				
○				香川証券株式会社	金融商品取引業者	○				
○				株式会社鹿児島銀行	登録金融機関	○				
○	○			株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関	○				
○				鹿児島相互信用金庫	登録金融機関					
○				柏崎信用金庫	登録金融機関					

(次ページに続きます)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

(前ページより続きます)

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 1 年 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
						日本 協会 証券 業	日本 協会 投資 顧問 業	一 般 社 団 法 人 金 融 先 物 取 引 業 協 会	一 般 社 団 法 人 金 融 商 品 取 引 業 協 会	一 般 社 団 法 人 金 融 商 品 取 引 業 協 会
	○			株式会社神奈川銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第55号	○			
○				金沢信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第15号	○			
○				鹿沼相互信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第221号				
○				蒲郡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第32号				
○				観音寺信用金庫	登録金融機関	四国財務局長(登金)第17号				
○	○			株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
	○			北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第34号				
	○			北群馬信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第233号				
○	○			きのくに信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第51号				
○	○			キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第62号	○			○
○	○			九州FG証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第18号	○			
○	○			京都中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第53号	○			
○	○			京都北都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第54号				
○	○			株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		○	
○	○			株式会社きらぼし銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		○	
○	○			きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3198号	○			
○				株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号	○			
○				桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号				
○				熊本第一信用金庫	登録金融機関	九州財務局長(登金)第14号				
○	○			呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号				
○				ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
○				株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○		○	
	○			興能信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第19号				
○	○			湖東信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第57号				
○	○			株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○			
○				さがみ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第191号				
○				佐野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第223号				
○				さわやか信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第173号	○			
○	○			株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
○				三条信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第244号				
○	○			Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○	○		
	○			株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
	○			四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
○				しずおか焼津信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第38号				
○	○			静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			
○	○			七七七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
○				しのめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第232号				
○	○			株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
○		○		株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○			
○				城北信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第147号	○			
○	○			株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
○	○			株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
○				白河信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第36号				
○				新庄信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第37号				
○				スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○			
	○			諏訪信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第255号				
○				静岡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第43号	○			
○				西武信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第162号	○			
	○			関信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第45号				
○				瀬戸信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第46号	○			
○	○			株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○	
○	○			第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○			
○	○			大和証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
	○			高崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第237号				
○				高松信用金庫	登録金融機関	四国財務局長(登金)第20号				
	○			但馬信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第67号				
○				玉島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第30号				
	○			知多信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第48号				
○	○			株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
○				東栄信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第172号				
○	○	○	○	東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
	○			東京信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第176号	○			
○				東京東信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第179号	○			
○				株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号	○			
○				とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
○	○	○	○	東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			○
○	○			株式会社徳島大正銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○			
○	○			栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第224号				

(次ページに続きます)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

(前ページより続きます)

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 1 年 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
						日本証券 協会	日本 投資 顧問 協会	一般社団法人 金融 先物 取引 業 協 会	一般社団法人 金 融 商 品 取 引 業 協 会	一般社団法人 第 二 種 金 融 商 品 取 引 業 協 会
○				鳥取信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第35号				
○	○			株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○			
○	○			株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
○	○			富山信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第27号				
○				株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
○				豊川信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第54号				
○	○			内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
○	○			株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○			
○	○			長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○			
○				株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○			
○				奈良信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第71号	○			
○				奈良中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第72号				
○	○			株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
○	○			南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			
○				西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第58号	○			
○	○			西中国信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第29号				
○	○			株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
○	○		○	西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
○				のと共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号				
○	○	○	○	野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
○	○			株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
○	○	○	○	(委託金融商品取引業者八十二証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
○	○	○	○	八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
○	○			浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
○				浜松磐田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第61号				
○	○			福州信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第76号	○			
○				飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号				
○	○			PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○			○
○	○			株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号				
○	○			株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○			
○	○			(委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号				
○	○			姫路信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第80号	○			
○				百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
○	○			兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○			
○				平塚信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第196号				
○	○			ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
○	○	○		株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○		○	
○	○			福井信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第32号				
○	○			福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第24号	○			
○	○			富士宮信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第65号				
○	○	○	○	PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
○	○			PayPay証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2883号	○			
○				碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○			
○	○	○		株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
○	○	○	○	北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○			
○	○			株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○	
○	○	○	○	松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○			
○	○	○	○	マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
○	○	○	○	丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
○	○			丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
○				三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第68号				
○				水島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第48号				
○	○	○	○	株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○
○	○			三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
○	○	○	○	株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
○	○	○	○	株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
○	○	○	○	三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
○	○	○	○	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
○				株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○		○	
○	○			株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第10号	○			
○	○			moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○		
○	○	○	○	株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			
○	○			明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号				
○	○			めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			
○				大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第88号	○			
○				株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○			
○	○			株式会社UI銀行 (委託金融商品取引業者 きらびライフデザイン証券株式会社) (オンラインサービス専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第673号	○			
○	○	○	○	楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
○				留萌信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第36号				
○	○	○	○	ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

(資料作成日現在、50音順)